



AFFILIATED WITH THE INTERNATIONAL ASSOCIATION

# THE Y'S MEN'S CLUB OF TOKYO SETAGAYA

"TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIES EVERY RIGHT"

C/O TOKYO YMCA MINAMI CENTER 3-23-2 MIYASAKA, SETAGAYA-KU, TOKYO, 156-0051 JAPAN

国際会長主題 「私たちは変えられる」(Yes, we can change )  
 アジア太平洋地域会長主題 「アクション」 (Action)  
 東日本区理事主題 「為せば成る」 (No challenge, No fruit )  
 東新部部長主題 「ワイズの楽しみは、今、そしてこれから」  
 クラブ会長主題 「クラブライフを楽しもう」

Moon Sang Bong (韓国)  
 田中 博之 (日本)  
 宮内 友弥 (東京武蔵野多摩)  
 神保伊和雄 (東京むかで)  
 朝倉 正昭 (東京世田谷)

Enjoy your club-life!

## 2018年7月会報

強調テーマ

\* キックオフ \*

YMCAサービス ASF/RBM

会長 朝倉 正昭  
 副会長 松井 直樹  
 書記 太田 勝人

会計 寺門 文雄  
 直前会長 寺門 文雄  
 担当主事 岡田 ナスカ

### ↑ 今月の聖句

平和を実現する人々は幸いである  
 その人たちはかにかの子と呼ばれる。

Happy are those who work for peace;  
 God will call them his children !

マタイによる福音書 5 : 9 (小川 選)

### プログラム

- 司会 村野 繁 君  
 1. 開会点鐘 朝倉 正昭 会長  
 2. ワイズソングとワイズの信条 一同  
 3. 今月の聖句朗読と食前の祈り 小川 圭一 君  
 4. ゲスト&ビジター紹介 朝倉 正昭 会長  
 5. 神保伊和雄 東新部部長ご挨拶 (公式訪問)  
 6. 会 食  
 7. 卓話 「朝鮮通信使について」 村上 啓子 氏  
 8. ハッピーバースディ 1日 松井百合子さん  
 22日 小川 圭一 君  
 結婚記念日 該当者なし  
 9. ニコニコ献金  
 10. 諸報告  
 11. 閉会点鐘 朝倉 正昭 会長

### ☀ 7月例会プログラム

と き 7月20日 (金) 18:30~20:30  
 ところ 東京YMCA南コミュニティーセンター3F  
 電話 03-3420-5361

6月のデータ	会員在籍	15名	例会出席者	6/15日	6月のBF 切手 0g 現金 0円 累計切手 0g	ニコニコファンド 6月 9,418円 年度計 89,638円
	出席率	87%	会 員	12名		
			メネット	2名	東京世田谷ワイズメンズクラブは 2017年10月31日 社団法人日本 キリスト教海外医療協力会に年会費 10,000円を納入し継続しました。	JOCS累計 使用済み切手と併せて 注: JOCS 献金記録の掲載 すずらん会やコミュニティコンサート ではかねてよりJOCSへの応援を行って いる。 使用済み切手とワンコインの 献金など。
			メイキャップ	1名		
			ゲスト	0名		
			ビジター	1名		
	第2例会	6/28日 (木) (8名出席)	合計	16名		
	朝倉、太田、小川、小原、 川嶋、張替、、村野、岡田、		すずらん会参加者	6/28日 (木)		
			ゲスト	62名		
			スタッフ	12名		
			合計	74名		

## ※ 本日のメインプログラム

例年になく早く梅雨が明け、猛暑が襲ったと思ったら、史上空前の降雨に見舞われ、西日本は大変な災禍に見舞われています。命を落とされた方、被災された方々に心からのお見舞いを申し上げます。震災、台風、大雨と相続く災害に心が滅入ってしまう今日この頃です。

今月の卓話者には村上啓子さんをお招きし、朝鮮通信使についてお話を頂きます。詳しくは村上さんのプロフィールを、ご一読いただければよいのですが、日本と朝鮮の長期間にわたる交流を研究されている方です。

(朝倉 記)

## 7月卓話者紹介

### 村上啓子さんのプロフィール

高麗博物館は1990年8月16日に申英愛女史の朝日新聞の「論壇」の「連行慰霊塔と朝鮮美術館建設を一戦後の長い空白に「在日は願う」を投書して掲載されたのが切っ掛けで運動が始まりました。

第1回総会は1993.11.30です。2002.5.21にNPO(特定非営利活動法人)認定されました。村上さんは朝鮮通信使の勉強会をリードして、特別企画展を推進させました。認定特定非営利活動法人 高麗博物館 副理事長を勤められています。

## ※ 6月例会報告 (湘南倶楽部)



窓の外、木々の向こうに井の頭線が走って、、、素敵な雰囲気湘南倶楽部での6月例会に。寺門会長は腰痛障がい夜の例会参加が難しくなりましたが治療、リハビリ効果もあり今月の昼間の例会へご夫妻でご出席に。

美味しい食事、ワイン、泡盛で話題も盛り上がり一年の振り返り、朝倉年度へ向けての抱負を。

2003年からスタートした「うたの会」に加えて、YMCAの、「希望が丘」新規事業へのサポート、恒例となったリーダーと共に南センター2階のペンキ塗り8月末に。



次次年度：小川東新部部長誕生、寺門年度から朝倉年度へと、各人のスキルをいかして話題も豊富に、盛りだくさんなクラブ活動になりそうです。

(小原 記)

## ※ 第2例会報告

日時：6/28(木) 16:00~17:30

場所：経堂緑岡教会

出席者：朝倉、太田、小川、小原、川嶋、張替、村野、岡田の計8名

### 1. 打ち合わせ事項：

- ① 7月のブリティッシュ内容決めと担当割り振り  
一原稿締切り：7/6、印刷日：7/9(月) 16時より
- ② 太田が町田地域に新クラブを創る機会に転出する、との件で時間をさいて協議。

### 2. 報告事項：

- ① 第21回東日本区沼津大会に朝倉会長はじめ7名、メネット2名、計9名が参加。
- ② 6/15期末の「評価」を下北沢「湘南倶楽部」にて開催し、15名が参加の上全員発言して交流しあった。
- ③ 6/19小川東新部次期部長と太田がセンチアルクラブ訪問、次期東新部大会実行委員長を出してもらうことで同意を得た。

### 3. 協議事項：

- ① 朝倉新会長よりクラブ運営方針を発表していただいた。
- ② 若手青年層の開拓について案を出して協議した。太田が町田地域に新クラブを創る機会に転出したい。との申し出に対して全員で議論をし、最終的には止むを得ない、と理解をしていただいた。本人も議論した内容を忘れずに行動する旨応えた。

(太田 記)

## ✧ 第21回東日本区大会



第21回東日本区大会は6月2日—3日 沼津プラサヴェルデに於いて480余名の方々が集い、渡邊実帆沼津クラブ会長、大村貴之大会実行委員長、沼津クラブの皆様のご奉仕により開催されました。



沼津学園飛龍高等学校和太鼓部の若者が打ち鳴らす力強いリズムカルな太鼓の響きに続き、バナーセレモニーに岩崎直前会長登壇。栗本次郎東日本区理事により開会宣言・点鐘、とテンポよくスタート。

東日本区アワーでは部長が各クラブ活動を紹介。奈良伝賞を持田二郎(東京クラブ)、倉石昇(千葉クラブ)両氏が受賞され、JEF基金へ多額の献金をされました。

記念講演は地元出身の岩崎恭子氏に、1992年バルセロナオリンピックに於いて14歳で競技史上最年少金メダリストとなり一躍時の人となるも、以後のオリンピックで結果を出せず選手生活に終止符を。その後は、水泳の普及に尽力、水泳を通して多くの子供たちを育て水泳のすそ野を広げる活動を続けられてと、伺いました。

翌日、理事役員引継ぎで、栗本次郎理事から宮内友弥理事へ引き継がれ、次回、東京サンライズクラブのホストによりオリンピック記念青少年総合センターでの再会を期し、閉会に。

(小原 記)

## ✧ 国際通信：

### I B C先ハワイ Kaimuki Club との連絡

- (1) Setoさんより、①Kaimuki Clubは55周年を迎え、記念のボールペンを作成したので送りますが、世田谷クラブの会員数を教えてほしい。また②Kaimuki Clubと世田谷クラブとのI B C締結はいつであったか、ハワイ側に正式書類が見当たらないので、教えてほしい、自分はもうじき50周年を迎えるのではないかと、との問い合わせがありました。
- (2) 会員数はすぐ返事が出来て、先般6/15の例会にて皆さんに記念のボールペンをお渡ししました。(実際は小山憲彦君が55周年の式典に出席され、持ってきてくれました)
- (3) I B C締結は小原さんに伺い、世田谷クラブは最初にGardena ClubとI B C締結をし、1985年北米で開催された国際大会に当時堀井クラブ会長はじめ世田谷クラブのメンバーが大勢参加し、帰路ハワイ・ホノルルに寄ってKaimuki Clubとの締結式を持ちました。  
Gardena Club---Kaimuki Club---世田谷クラブとの間でTriangleの関係に入り、古老富田ワイズはよく「I B Cの世田谷(クラブ)」と語っていました。従って、Kaimuki Clubとは今年で33年となります。

(太田 記)

## ✧ 下北沢音楽祭に参加

下北沢音楽祭2018に、3タイトルをエントリーできました。

- ① 懐かしくやさしい古楽器の調べ バッハ・教会カンタータの音楽会 7月1日 下北沢ナザレン教会
- ② みんなの歌声サロン2018 (延べ15年にもなりました) 7月5日 北沢タウンホール
- ③ 図形音譜・アカペラ四部合唱の会 (ストリートデビューと月例イベント) 7月7日

しもきたスクエア、下北沢ナザレン教会



YMCAすずらん会は、世田谷ワイズのCSプログラムとして、地元の教会はもとより社協や商店街、そして世田谷区との連携で、文字通りコミュニティ活動を展開してきましたが、夫々がそれなりに楽しく喜ばれて、小さな達成感に満たされる幸いを感謝します。

バッハ・教会カンタータの音楽会は、ロックミュージック中心の音楽祭に、クラシック音楽の父とも言われるバッハのカンタータを満員のお客様と楽しみました。アンケートには、バロックやクラシックのファンです！との声がたくさんありました。想定どおりで、童謡唱歌、賛美歌など多様な音楽を愛するコミュニティの皆さんと出会うことができ、YMCAとワイズの存在をお知らせできたとすれば、嬉しいことでした。特に、バッハ・教会カンタータの音楽会は、ネット予約で満席となり、「完売感謝」を出したのは快感でした。

図形音譜・アカペラ四部合唱の会は、すずらん会にやってきたTimさん御夫妻との出会いがきっかけのプログラム。英語の賛美歌を無伴奏でハモルという素朴な音楽で、合唱好きの私には、望外の楽しさです。

それにしても、喪中3年目の独居老人には、力の限界を超えるプログラムでしたが、クラブメンバーのサポートと励ましが遂行の力でした。心から感謝します。

(小川 記)

## ※ 会長通信 1807

6月28日に経堂緑岡教会においてYMCAすずらん会が開かれました。会場を変更して以来、会を追うごとに、参加の方が増え、スタッフ11名を含め、70名の新記録を達成いたしました。小川さんから下北音楽祭のご案内もあり、歌声広場の活動が、地域に根差した文字通りのCS活動となっていると感じます。

私は、先月元所属していた「信越妙高クラブ」の第13回目の東日本大地震支援活動で、3泊4日の石巻ワークショップに参加しました。これが信越妙高クラブとしての最後のワークショップでした。東日本大地震から、7年経過しましたが、地元の方との交流を通じて、被災された方の心の傷の深さを改めて感じるとともに、非常に明るく、前向きに物事に取り組まれていることに感銘を受けました。物理的なインフラストラクチャーの復興事業は依然として大規模に続いていますが、私たちは被災された方の内面を気遣い、支援活動はまだ必要だと感じました。

折しも、大阪北部地震がマグニチュード6.2の規模で起きまし、東海沖地震や、南海トラフの大地震が予報されています。人はともするとのど元過ぎれば熱さを忘れるという傾向がありますが、東日本大地震や、その後の大地震を決して忘れることなく、普段の備えと、我々はなにができるかを日常的に考えていなければと改めて思いました。

(朝倉 記)

## \*今後の卓話予告

8月 塚本みち子さんによる

「被爆体験談」－平和への祈り

9月 南センターリーダーによる

「夏のキャンプ体験談」と「YVLFに参加して」

## \*今後のスケジュール

7/5-8 下北沢音楽祭

新装なった北沢タウンホールにて

7/5 (木) 18:30 YMCAX夏祭り打ち合わせ

7/9 (月) 16:00 7月のブリテン印刷と発送準備

7/11 (水) 東新部 役員会 (第1回評議会準備)

18:30~東陽町センター1階

7/13 (金) 下北沢すずらん会

7/14 (土) 13:30~17:00 東新部第1回評議会、

東京YMCA本部6階 (早稲田)

7/18 (水) ボラセン歌の広場、三茶

7/20 (金) 第1例会・公式訪問あり

7/26 (木) YMCAすずらん会

第2例会 (役員会)

7/29 (日) 13:00~15:00 「チョトショブノ

小さな夢を意味する」の会

バンングラデシュの恵まれないお子さんの

教育を支援 YMCA本部 (早稲田)

## ※ YMCA NEWS

6月にはサマープログラムに向けて、山中湖と野尻湖で実技リーダートレーニングが実施されました。リーダーたちがこの夏のプログラムに向けて、薪を使った火の扱いやボートの漕ぎ方、キャンプファイヤーやキャンプソングの実体験など、すべての子どもたちと共に安全に楽しく過ごすことを目指します。その現場では、スタッフに加え、たくさんのOB、OGリーダーがトレーナーとして現役のリーダーたちをサポートしてくれています。私たちスタッフだけでは行き届かないところをリーダーたちに近い存在のOBたちが寄り添い、見守り、伝え、支えてくれています。その存在は心強く、リーダーたちにとっても良きトレーニングの場となっています。

OBリーダーたちは、自分たちが育てられた場で今度は育てる側として関わることによって喜びを感じていると語ってくれます。すべては子どもたちのために、リーダーのために。みつかる・つながる・よくなっていく、ブランドスローガンにあるようにリーダーたちにも脈々とその精神が受けつがれています。

### 【東京YMCA・南センター7月・8月 今後の予定】

7月15日~8月26日 ・サマープログラム

8月25日 ・夏まつり (東陽町センター)

8月27日 ・南センターペンキ塗り (南センター)

(岡田ナスカ 記)